

「猫」

萩原朔太郎

まつくろけの猫ねこが二疋にひき、

なやましいよるの家根のうへで、

ぴんとたてた尻尾しっぽのさきから、

糸のやうなみかづきがかすんでゐる。

『おわあ、こんばんは』

『おわあ、こんばんは』

『おぎやあ、おぎやあ、おぎやあ』

『おわああ、ここの家の主人は病氣です』